

口腔健康を維持増進し、新型コロナウイルス感染症を予防しよう！

コロナの第3波を終息させ、ポストコロナを目指して頑張りましょう！

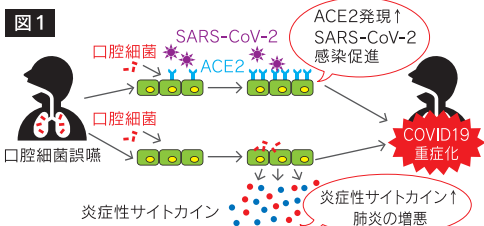
新型コロナウイルス感染拡大における第3波が収束傾向を見せているものの、受け入れ医療機関のひっ迫が続くなど、予断の許さない状態が続いています。一方、ワクチンの使用が始まるなどの明るいニュースもあり、出口が見えてきた気配も感じられます。みんなで力を合わせて第3波を抑え込み、ポストコロナまで頑張りましょう。

歯周炎によって、新型コロナウイルス肺炎が重症化します

歯茎や歯を支える骨の炎症である歯周炎によって、新型コロナウイルス肺炎が重症化することが、近々ヨーロッパ歯周病学会誌で報告されます(表1)。歯

	重症化	歯周炎の状態	
		健全・軽度	中等度から重症
新型コロナウイルス肺炎の状態	重症化	1	3.67
	死亡	1	8.81
	集中治療室	1	3.54
	人工呼吸器	1	4.57

▲歯周炎が重症化すると、どれだけ新型コロナウイルス肺炎が重症化したかのオッズ比(年齢、性別、糖尿病、全身の併発症、喫煙の影響を統計学的に補正した値)。[J. Clin. Periodont. 2021, in press, N. Marouf]から引用。



▲歯周病原菌によって、新型コロナウイルス肺炎が重症化する機序モデル。口腔内細菌(歯周病原菌)がACE2や炎症性サイトカインを通して、新型コロナウイルス肺炎を重症化させると考えられている。季刊「歯科医療2021年冬号」高橋、今井から引用。

周炎の患者は歯周炎でない患者に比べて、新型コロナウイルス肺炎になった場合、3.67倍重症化するリスクが高くなったことがわかりました。重症化し死亡した比率は81倍、集中治療室での治療が必要になったのは3.54倍、人工呼吸器が必要になったのは4.57倍でした。新型コロナウイルス感染症においては、糖尿病、腎疾患、心疾患などの基礎疾患を抱えている方が重症化しやすいことはわかっています。歯周炎もその基礎疾患のうちの1つだと考えられます。ACE2というレセプターや炎症性サイトカインが新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を引き起こします。歯周病原菌がこの引き金を引いていると考えられています(図1)。

予防歯科や歯周治療を受け、歯周病原菌を退治し、新型コロナウイルス肺炎に強い体を手に入れましょう

私たちはコロナ禍から健康が社会活動を支えていることを学びました。また、日頃から健康を維持増進することが大切であることも学びました。口腔健康も日頃から維持増進しておくことが大切です。歯周疾患、虫歯は完全に予防でき、治すことができる病気です。感染対策をしつかりと行っている歯科医院で、信頼できるかかりつけ歯科医・歯科衛生士に歯周治療や予防歯科を受け、しっかりと口腔健康を維持増進することが大切です。口腔を健康にして歯周病原菌を退治し、新型コロナウイルス感染症から身を守りましょう。ぜひ、専門家に相談されてください。

※予防歯科、高度先進医療は保険外診療になることがあります。



医療法人
くららのうえ市丸歯科
院長 市丸英二先生

長崎大学歯学部大学院卒業後、米国スタンフォード大学医学部研究員を務める。長崎大学臨床教授、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。

TEL.0942-81-5410
住/高橋市東上2丁目187番地 URL www.10shika.jp